

1 第 9 次土浦市総合計画（案）について

No.	主な御意見等	回答・対応
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標ごとの代表成果指標について、見る方からすると、基準年や目標年が各項目でバラバラになっているのは、どれだけ良くなったか比較するのにわかりづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>第 9 次土浦市総合計画の構成については、昨今の社会経済情勢の目まぐるしい変化にいち早く対応できるよう、基本構想及び実施計画の 2 層構造の体系とし、基本計画については、現計画の方針に該当する部分を基本構想に含めた上で、各分野の個別計画に置き換え、基本構想と実施計画を接続する役割を担わせるものとしています。このため、各基本目標の代表成果指標については、原則当該基本目標と実施計画を接続する個別計画で位置付けられている指標の中から、当該基本目標を網羅するようなものを抽出して設定したものです。</li> <li>御意見を踏まえ、代表成果指標については、目標値を当面のものとした上で、これらについては、今後、本市の最上位計画である本総合計画で定めた 8 つの基本目標の考え方に基つき、個別計画の期間満了時等に合わせて、見直しを行う旨明記しました（【資料Ⅲ - 2】第 9 次土浦市総合計画（案）資料編 82～98 頁）。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>代表成果指標について、例えば、「待機児童数」について、待機児童は令和 6 年度までに 0 人を目指すと記載があるが、0 人になればその先はないわけで、10 年計画としてその先の目標はないのか。</li> <li>代表成果指標の見直しは、どういうタイミングで更新されていくのかというのは、誰が決めていくのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「待機児童数」の成果指標の考え方については、待機児童数が 0 人になった後も、毎年 0 人を継続することが重要であると考えています。</li> <li>代表成果指標の見直しについては、本総合計画で定めた 8 つの基本目標の考え方に基つき、個別計画の期間満了時等に合わせて、個別計画の中で見直しを行っていきます。</li> <li>「待機児童数」の成果指標については、後述の御意見を踏まえ、「地域における子育て支援の充実に関する満足度（土浦市民満足度調査）」に変更しました（【資料Ⅲ - 2】第 9 次土浦</li> </ul>

No.	主な御意見等	回答・対応
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合計画の方が上位の計画であるとする、個別計画の数字が総合計画に入ってきて、また、この数字も変わりますというのは、理屈としてはおかしい。</li> <li>・ 総合計画が本来上位計画であるならば、個々の数値も総合計画の中で決められていくものであるのが普通の考え方であるのではないか。</li> </ul>	<p>市総合計画（案）資料編 83 頁）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上述のとおり、第9次土浦市総合計画の構成については、基本構想及び実施計画の2層構造の体系とし、基本計画については、現計画の方針に該当する部分を基本構想に含めた上で、各分野の個別計画に置き換え、基本構想と実施計画を接続する役割を担わせるものとしています。このため、各基本目標の代表成果指標については、原則当該基本目標と実施計画を接続する個別計画で位置付けられている指標の中から、当該基本目標を網羅するようなものを抽出して設定したものです。</li> <li>・ 御意見を踏まえ、各基本目標の代表成果指標については、目標値を当面のものとするとともに、これらについては、基本目標の考え方を示した上で、今後、この考え方にに基づき、個別計画の期間満了時等に合わせて、見直しを行う旨明記しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）資料編 82～98 頁）。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一回目の会議の中で、一番の問題であるということで議論した人口減少について、フロー図にはどこにも入っていない。「夢のある、元気のある土浦」で土浦は何を目指していくのかというところが分かりにくい。</li> <li>・ フローに示した将来像の中に、「人が集う」、「人が集まる」といった表現を入れてしまって、個別のものはここに入りますという位置付けにしてはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御意見を踏まえ、【資料Ⅲ - 2別添】第9次土浦市総合計画フロー図に将来目標人口及び将来目標人口の達成に向けた人口対策の方針について明記しました。</li> </ul>

No.	主な御意見等	回答・対応
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フロー図では、リーディングプロジェクトとして4つのテーマがあり、その中で2つ、3つと方針が示されている。できれば、この計画では、その方針の下に、何年間かわらないレベルの目標値を決め、フロー図にも入れていただき、最初に御説明いただいた細かいものについては、各個別計画のままで見ていってはどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 御意見を踏まえ、リーディングプロジェクトについては、それぞれに将来像を達成するための成果指標を1つ新たに設定しました（【資料Ⅲ-2】第9次土浦市総合計画（案）第3章52頁、55頁、57頁及び59頁）。また、本総合計画そのものの進行管理については、リーディングプロジェクトにおける主な取組の進捗状況を、前述の成果指標の達成状況を含めて、毎年度、公表していきたいと考えています。</li> <li>・ 各基本目標の代表成果指標については、個別計画において進行管理を行っていききたいと考えていますが、総合計画においては、上述のとおり、目標値については、当面のものとし、これらについては、基本目標の考え方を示した上で、今後、この考え方に基づき、個別計画の期間満了時等に合わせて、見直しを行っていきます。</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ リーディングプロジェクトと将来目標人口とのつながりを具体的に示すべきである。</li> <li>・ 個別の部分については、この8つの基本目標に紐づく個別計画が、それぞれの中で取り組んでいくという関係であろうが、個別計画から持ってきた指標が並んでいて、しかも、目標年も個別計画の見直しと共に変化させていくとなると、個別計画リードで数値が変わっていくように見えてしまっている。また、今挙がっている指標が8つの基本目標のそれぞれに書かれていることを必ずしも網羅しておらず、所々選ばれていて、なぜ、今回これが選ばれているのか分からない。</li> <li>・ 例えば、将来目標人口を達成するために、こういう方法で、こういう分野に力を入れていき、そのためにこういった個別</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上述のとおり、リーディングプロジェクトについては、それぞれに将来像を達成するための成果指標を1つ新たに設定することで、将来目標人口とのつながりについて明確化しました（【資料Ⅲ-2】第9次土浦市総合計画（案）第3章52頁、55頁、57頁及び59頁）。</li> <li>・ 各基本目標の代表成果指標については、上述のとおり、原則当該基本目標と実施計画を接続する個別計画で位置付けられている指標の中から、当該基本目標を網羅するようなものを抽出して設定したものです。</li> <li>・ 御意見を踏まえ、各基本目標の代表成果指標については、基本目標の考え方及び対応する個別計画を示した上で、この考え方に基づき、個別計画の期間満了時等に合わせて、見直し</li> </ul>

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>計画がつながってこの数値であるといったような流れをこの資料に書いていただくと分かりやすくなるのではないか。</p>	<p>を行う旨明記しました(【資料Ⅲ-2】第9次土浦市総合計画(案)資料編82~98頁)。</p>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表成果指標の「合計特殊出生率」については、率を上げるよりも、出生数の方が大事であると考えている。そこで、令和6年の目標値である1.55を達成したとして、出生数はどのように移行すると考えているか。</li> <li>・ 出生数を上げるためには、母数の確保が重要であり、このためには、その母数となり得るべき方々がこの地域を選ぶかどうか非常に大事なところである。したがって、例えば、59頁の雇用の安定について、例えば、市外に出ずとも働けるといったような魅力的な雇用ややりがいのある仕事の創出も非常に大事だと思うので、そのあたりも検討いただければと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 合計特殊出生率の上昇と出生数との関係については、令和元年度に策定した第2期土浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」において推計を行っております。この中で、仮に、合計特殊出生率が目標値である1.55を達成したとしても、母数が少なくなることから、出生数自体の減少は継続していく推計となります。したがって、前述の「人口ビジョン」においては、合計特殊出生率の上昇により、出生数の減少を抑制するとともに、青年・壮年世代の転出超過の改善等により人口構造の若返りを目指すことを方針としています。</li> <li>・ 御意見のとおり、出生数を増加させるためには、母数の確保が非常に重要となる一方で、本市は、特に子育て世帯の近隣市町村への転出超過が大きな課題となっています。したがって、こうした課題に対応するため、御指摘いただいた魅力的な雇用ややりがいのある仕事の創出に向けて、リーディングプロジェクト3「暮らしやすさ、働きやすさが人を呼ぶまちづくり」における政策方針2「地域経済の活性化」(【資料Ⅲ-2】第9次土浦市総合計画(案)第3章58頁)に位置付けた取組を核として、各種施策を政策分野横断的に推進していきたいと考えています。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国全体が人口減少下にある中で、市の様々な分野を活性化させ、「夢のある、元気のある土浦」を実現するためには、土浦</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市は、地方創生の推進において、広域連携の視点が重視されていることから、近年、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」</li> </ul>

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>市単体で考えても、なかなか難しい。また、防災や災害対策、水道、下水道や今回のコロナ対策など、広域的・流域的に対処していかなければならない課題がどんどん増えてくる中で、市民に元気のある茨城の県南の中心都市だという気概を持たせる意味でも、土浦はこの地区のリーダーとして引っ張っていくんだというメッセージが感じられるようなイメージがこの計画でも出せばよいのではないかと考えている。市の総合計画なので、広い話は難しいかもしれないが、土浦市が広域連携の中でリーダーシップをとっていくというニュアンスを追加してほしい。</p>	<p>や「筑波山地域ジオパーク」を活用した観光分野や地域公共交通の総合的な確保・維持・改善策において、周辺地域とのネットワークの形成を進めています。また、今年度からの新たな取組として、本市を代表自治体としてサイクリング環境を共有する霞ヶ浦北岸に位置する行方市、潮来市、かすみがうら市と共同によるサイクリングを活用した地域活性化事業も行っています。さらに、前回の御意見を踏まえ、本市の現状を踏まえた課題の取りまとめ（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）第1章第4節36～40頁）の中で、広域連携における本市の中心都市としての役割について言及したところです（同節39～40頁）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回頂いた御意見を踏まえ、将来像を支える3つの視点のうち「将来にわたって、持続可能な地域を創造する」において、関係の深いカテゴリーに「広域連携」を追加するとともに、解説文において、「県域全体の発展に寄与するためにも、県南地域の中心都市として、リーダーシップを発揮しながら、周辺自治体と連携した広域行政に積極的に取り組む」旨の表現を追加しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）第2章第1節43頁）。</li> <li>・ 合わせて、【資料Ⅲ - 2】別添第9次土浦市総合計画フロー図においても、課題の「効率的・効果的な行財政運営と広域連携の推進」において「県南地域の中心都市として、リーダーシップを発揮しながら～」を明記しました。</li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【資料Ⅲ - 2】の4頁の第3節計画の進行管理について、「その都度見直しを検討することで、総合計画の着実な推進を図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本総合計画の各基本目標については、毎年度個別計画において進行管理を行います。本総合計画そのものの進行管</li> </ul>

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>ります」と書いてあるが、実際に1年1年見直しを行うのか。いわゆるPDCAのサイクルを運用するのであれば、運用方法を明確に定め、計画のレビューを確実に行っていかなければならないと考えており、この部分での記載内容が不足していると感じる。</p>	<p>理については、リーディングプロジェクトにおける主な取組の進捗状況を、今回リーディングプロジェクトごとに新たに設定した将来像を達成するための成果指標の達成状況を含めて、毎年度公表していきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、本計画の進行管理においては、「優先的・重点的に取り組む政策方針に位置付けられた施策・事業については、毎年度その進捗状況を公表するとともに、」の表現を追加しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）序論第3節6頁）。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>【資料Ⅲ - 2】の46頁の土地利用イメージ図について、国道125号からおおつ野へ向かう国道354号の開発についても基軸になる道路があるのではないかと。また、どのように利用するのも少し考えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見のとおり、東西を結ぶ国道125号線及び国道354号線を土地利用イメージ図に追加しました。合わせて、南端において、牛久土浦バイパスも追加しております（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）第2章第3節50頁）。</li> <li>こうした基軸となる道路周辺の土地利用につきましては、今後、各施策の中で検討していきたいと考えています。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章中の言葉遣いについて、一例として【資料Ⅲ - 2】の38頁など、「時代の流れに応じて」という言葉が頻繁に使われているが、論理的に考えれば、「時代の変化を捕まえる」という意味合いを示すべきであって、「時代の変化に応じて」といった表現にしないと全体的に主体性が感じられないので、変更していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見のとおり、各頁の該当箇所において「時代の流れ」は「時代の変化」に修正しました。（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）41頁、43頁、49頁、52頁、53頁、54頁、62頁、63頁、64頁、66頁、67頁、69頁、70頁、77頁、78頁）</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の目からとして、基本目標を8つ掲げているが、そのために何をするのかを知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見の部分もあるかと存じますが、本総合計画は、本市の今後の政策方針を示すものであり、ここでは、社会経済情勢等の変化による本市の課題の分析及び抽出と本総合計画に</li> </ul>

No.	主な御意見等	回答・対応
		<p>続く個別計画がこうした課題に的確に対応できる施策・事業を実行できるよう、本市のこうした課題に対する今後の方向性を確実に定めることを主眼とした上で、個別具体的な施策・事業については、本総合計画の下部計画となる個別計画において検討していきたいと考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• また、個別計画に定めた主な事業を中心に、財政状況や社会経済情勢と整合を図りながら、実施する事業を定める実施計画について、現在策定中であり、市民の皆様へは、次年度の当初を目途に広報紙等でお示ししていきたいと考えています。</li> <li>• なお、実施計画は、3か年計画となり、毎年ローリング方式による見直しを行っていきます。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 昨年他の会議にも参加させていただいたが、人口減少、土地利用など、今回の審議会で問題視されていることは、全てその会議の意見で出ており、何の変化もなく来ているのが現状だと思う。</li> <li>• 「時代の変化」への対応について、コロナになって子供たちはすごく大変な思いをしているのに、何の変化もない。土浦市では今回やっとアイパッドが児童に配られたが、ITを活用して、どんどん感染防止策を取り入れているつくば市に比べ、土浦市はアナログで対応しており、その時点で後れを取っているのは、皆さん御存じだと思うので、素早い対応をお願いしたい。</li> <li>• リーディングプロジェクトの「基本目標1 心豊かに住み続けることのできるまちづくり」を目指すに当たって、子育て</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育現場でのITの活用については、本市では、御承知のとおり、児童生徒に一人につき1台の端末を配布し、2学期から使い始めました。現在も、児童生徒に持ち帰ってもらっており、つくば市と同様に取り組んでいますので、今後、活用はますます進んでいくものと考えています。</li> <li>• 小学校教育との接続を円滑に行うための就学前教育については、国の方では、この教育の重要性を鑑みて、プログラム作りを行っているところですが、本市はこうした国の動きに先駆けて事業を行っており、幼稚園や保育園の方に本市独自のプログラムを提供しながら、小学校へスムーズに上がれるように徹底して取り組んでいるところです。こうした取組については、一般の市民の方への周知ができていなかった部分もあることから、今後、十分に説明を行っていききたいと考え</li> </ul>

No.	主な御意見等	回答・対応
	<p>世代のお母さんたちが出ていってしまうのは、今言ったようなIT活用の後れなど、土浦市の環境が悪いからではないか。つくば市に子育て世帯がどんどん入ってきているのは、IT環境が充実している上、土地利用も適正に行われているというところが大きな違いかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また、子育ての対象は未就学児だけではない。例えば、ひたちなか市やかすみがうら市も、幼稚園・保育所・学校が連携してプロジェクトが進められている一方で、土浦市は全く進められていない。他の市では、小学校教育との接続を円滑に行うための対策もどんどん行っているが、土浦市はやっていない。保育園だけで対応することは難しく、市の施策が子供の目線で考えられていない部分もあると感じており、こうした部分でも時代に取り残されているのではと思う。小学校教育との接続については、牛久市も力を入れていると思うので、そういうものを市で取り入れてくれるとよい。</li> <li>小学校教育との接続について、子供が少ないので、市がリーダーシップをとってくれないと、民営の幼稚園・保育所は置いていかれてしまうのではないか。やるなら、公平に、公立だけでなく、全部の保育園、全部の保育所、全部の幼稚園、全部の子供へ、といった点も考慮していただけると、子供達ももっと成長していくし、御家族も、土浦市はいいと感じてくれるのではないか。</li> </ul>	<p>ています。また、本市としても、こうした取組については、公立・私立に限らず全体として進めていくべきだと考えており、実際そのように取り組んでいるところです。</p>



2 審議会終了後意見書で頂いた御意見について

No.	主なご意見等	回答要旨
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第3章「計画の進行管理」の章に次の点について追記・検討をしていただきたい。</li> <li>・ 3年ごとの評価・見直しの項目にリーディングプロジェクトを明記する。</li> <li>・ 実施計画のローリング結果を見える化し、市報等で公開することにより、市民の参加意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施計画においては、リーディングプロジェクトに位置付けた政策方針に係る事業も含まれることとなります。また、上述のとおり、リーディングプロジェクトについては、主な取組の進捗状況を、今回リーディングプロジェクトごとに新たに設定した将来像を達成するための成果指標の達成状況を含めて、毎年度公表していきたいと考えております。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各部署より提案される個別計画が具体策の中心となるが、SDGsのゴール及び他都市との比較において基本目標3及び基本目標7の具体性が乏しい様に見受けられる。これは、技術的な知見が今後益々全部門を横断的に対応できる視点を必要としていると思われ、是非脱炭素等の対応を切口に、他都市のような技術的能力を、行政力に加えてゆくことを検討してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個別計画については、その策定や評価に当たり、外部会議を設けて、意見等を伺っており、この中で、学識経験者等の有識者の専門的あるいは技術的な知見も反映させているところですが、頂いた御意見につきましては、今後の市政運営においても参考とさせていただきたいと存じます。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各基本目標の代表成果指標について、各項目の基準年、目標年がバラバラであることはいかがか。特に、目標年が令和4年としてあるものが散見されており、総合計画の開始年と目標年が同時というのは理解しがたい。したがって、実施計画の計画期間である3年間に合わせて数値を設定し、毎年PDCAサイクルで見直ししていくことで統一してはいかがか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第9次土浦市総合計画の構成については、上述のとおり、基本構想及び実施計画の2層構造の体系とし、基本計画については、現計画の方針に該当する部分を基本構想に含めた上で、各分野の個別計画に置き換え、基本構想と実施計画を接続する役割を担わせるものとしています。このため、各基本目標の代表成果指標については、原則当該基本目標と実施計画を接続する個別計画で位置付けられている指標の中から、当該基本目標を網羅するようなものを抽出して設定したものです。</li> <li>・ したがって、各基本目標の進行管理については、基本的には、個別計画において行うこととしたいと考えています</li> </ul>

No.	主なご意見等	回答要旨
		<p>が、各基本目標の代表成果指標については、御意見を踏まえ、目標値と当面のものとするとともに、これらについては、基本目標の考え方を示した上で、今後、この考え方に基づき、個別計画の期間満了時等に合わせて、見直しを行う旨明記しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）資料編82～98頁）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>また、本総合計画そのものの進行管理については、上述のとおり、リーディングプロジェクトにおける主な取組の進捗状況を、今回リーディングプロジェクトごとに新たに設定した将来像を達成するための成果指標の達成状況を含めて、毎年度公表していきたいと考えています。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>各基本目標の代表成果指標のうちの「保育所待機児童数」については、当該年の4月1日において、3、4月ごろの保育施設の入所申込みに外れた児童数を指すと理解しているが、中途入所希望者も多くいると考えられる。また、子育てに対しては育児不安の相談場所や配偶者の育児休暇取得啓発や費用負担など様々な要望もあることから、単に「保育所待機児童数」を0人にするのではなく、土浦でどのような対策支援が子育て有効と感じているのかなどの満足度調査データなどの数値を成果指標にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見を踏まえ、提示する成果指標については、「地域における子育て支援の充実に関する満足度（土浦市民満足度調査）」に変更しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）資料編83頁）。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標1政策方針3について 青少年教育の推進に当たっては、地域との連携から、近所の大人、高齢者、幼児との交流などは非常に貴重な体験となり、また、手助け、ボランティアなどによって、地域での当事者感や自己有用感など得難い体験ができるような取組が重要であり、文中の「学校・地域社会が連携して「非行防止」に</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見のとおりかと存じますので、該当部分については、「～貴重な学びや成長の機会の充実、子どもたちの居場所づくりに取り組んでいきます」に表現を修正しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）第4章63頁）。</li> </ul>

No.	主なご意見等	回答要旨
	<p>取り組んでいきます」については、いきなり「非行」に走り            そうな子どもを想定しての「防止」ではなく、例えば「貴重な            学びや成長の機会・居場所づくり」などの文言がよいのでは            ないか。</p>	
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標5政策方針3について</li> </ul> <p>人口減少時代の変化に伴って、「男女共同参画社会」は社会的、            経済的課題と共に女性の活躍・働き方改革（ワークライフ            バランス）などと共にダイバーシティ（多様性）、インクル            ージョン（包容力）などの理念を含めながら持続可能で誰も            が安心して暮らせる社会と位置付けられていると考える。こ            こで、「多様性」という語には性別や年齢、民族、能力、性的            志向など様々な属性が含まれた状態を指す言葉として用い            られることが多くなっているため、「男女が」と限定的な性だ            けで「実現するためには」と表現するのは誤解を生じかねない            ことから、「多様性『を認め合い』包容力のある『男女共同            参画』社会を実現するためには」と変え、『『すべての人が』            互いに尊重し、思いやり、、、』とつないだ方がよいのでは            ないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見のとおりかと存じますので、該当部分については、            「多様性を認め合い、包容力のある男女共同参画社会を            実現するためには、全ての人がお互いを尊重し、～」に表現            を修正しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）            第4章72頁）。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートについて、世代別・地域別の分析を行い、計            画の方向性に漏れがないか確認してほしい。特に、子育て世            帯・若者世帯の施策の満足度・重要度がリーディングプロジ            ェクトのカバーしている部分とずれがないか確認が必要と考            える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートの分析結果において、施策の重要度が高く、            満足度が低い項目については、全世代、全地域で共通してい            ることから、「全地域及び全世代で共通して、」の表現を追            加しました（【資料Ⅲ - 2】第9次土浦市総合計画（案）第1            章第3節33頁）。また、第2期まち・ひと・しごと創生総合            戦略策定に当たり、子育て世帯を対象に平成30年に実施し            たアンケート調査では、「共働きに対する支援」、「地域で            の子育て支援環境の整備」、「保育サービスの提供」といった項</li> </ul>

No.	主なご意見等	回答要旨
		<p>目について不満度が高く、これらの項目については、リーディングプロジェクト1の政策方針1（【資料Ⅲ-2】第9次土浦市総合計画（案）第3章53頁）においてカバーしています。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>各基本目標の代表成果指標のうちの「市全体の温室効果ガス排出量」の目標値が、18%以上削減とあるが、カーボンニュートラル、ゼロカーボンを目指すべきとの社会的情勢に急激に変わってきている中で、かなり遅れた目標設定のままのように見えるので、一気にゼロにはできないとしても、数値を見直すのか、今後の見直しを待つのか、検討いただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>御意見のとおりかと存じますので、市全体の温室効果ガス排出量の目標値については、18%以上削減数値と2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロを併記しました（【資料Ⅲ-2】第9次土浦市総合計画（案）資料編95頁）。</li> </ul>